

## A.2 追加性の評価

本プロジェクトについては家庭部門を対象としており、経済的障壁を有する蓋然性が高いため追加性の評価は不要である。

### A.3 排出削減量の算定方法

#### A.3.1 排出削減量

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (\text{式1})$$

記号	定義	単位	数値
$ER$	排出削減量 ( $0 \leq t < 1$ )	kgCO2/年	623.0
$ER$	排出削減量 ( $1 \leq t < 2.5$ )	kgCO2/年	592.0
$ER$	排出削減量 ( $2.5 \leq t$ )	kgCO2/年	562.0
$EM_{BL}$	ベースライン排出量 ( $0 \leq t < 1$ )	kgCO2/年	623.2
$EM_{BL}$	ベースライン排出量 ( $1 \leq t < 2.5$ )	kgCO2/年	592.0
$EM_{BL}$	ベースライン排出量 ( $2.5 \leq t$ )	kgCO2/年	562.0
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後排出量 ( $0 \leq t < 1$ )	kgCO2/年	0.0
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後排出量 ( $1 \leq t < 2.5$ )	kgCO2/年	0.0
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後排出量 ( $2.5 \leq t$ )	kgCO2/年	0.0

#### A.3.2 排出削減量の算定で考慮する付随的な排出活動

##### (1) ベースラインの付随的な排出活動

(考え方) 本プロジェクトで適用する方法論では、ベースラインの付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

排出活動	排出量 (tCO2/年)	モニタリング・算定方法
		<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
		<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行わない
合計	0.0	

##### (2) プロジェクト実施後の付随的な排出活動

(考え方) 付随的な排出活動として、パワーコンディショナー利用に伴うプロジェクト実施後排出量の影響を検討する。なお、蓄電池を導入する削減活動は事業対象としていないことから、蓄電池利用に伴う付随的な排出活動は考慮しないものとする。

排出活動	排出量 (kgCO2/年)	影響度 (%)	モニタリング・算定方法
パワーコンディショナーの利用	$(0 \leq t < 1)$ 3.1 $(1 \leq t < 2.5)$ 2.9 $(2.5 \leq t)$ 2.8	0.5	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。
			<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する。
			<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する。
合計	0.0	0.5	

### A.3.3 プロジェクト実施後排出量

#### (1) 主要排出活動

(考え方) 方法論より、 $EM_{PJ} = 0$ とC02とする。

$$EM_{PJ} = 0 \quad (\text{式 3})$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{PJ}$	プロジェクト実施後の主要排出量	kgC02/年	0.0

#### (2) 付随的な排出活動

$$EM_{PJ,S,control} = EL_{PJ,control} \times CEF_{electricity,t}$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{PJ,S,control}$	電力制御装置 (パワーコンディショナー) の使用によるプロジェクト実施後排出量 ( $0 \leq t < 1$ )	kgC02/年	3.1
$EM_{PJ,S,control}$	電力制御装置 (パワーコンディショナー) の使用によるプロジェクト実施後排出量 ( $1 \leq t < 2.5$ )	kgC03/年	2.9
$EM_{PJ,S,control}$	電力制御装置 (パワーコンディショナー) の使用によるプロジェクト実施後排出量 ( $2.5 \leq t$ )	kgC04/年	2.8
$EL_{PJ,control}$	プロジェクト実施後の電力制御装置 (パワーコンディショナー) における電力使用量	kWh/年	5.7
$CEF_{electricity,t}$	電力のC02 排出係数 ( $0 \leq t < 1$ )	kgC02/kWh	0.54
$CEF_{electricity,t}$	電力のC02 排出係数 ( $1 \leq t < 2.5$ )	kgC02/kWh	0.513
$CEF_{electricity,t}$	電力のC02 排出係数 ( $2.5 \leq t$ )	kgC02/kWh	0.487

※ 消費電力は、夜間待機電力を1.3W × 365日稼働 × 夜間12時間として算定

### A.3.4 ベースライン排出量の考え方

#### (1) ベースライン排出量の考え方

ベースライン排出量は、プロジェクト実施後に自家消費した電力量を、プロジェクト実施後の太陽光発電設備からではなく、ベースラインの系統電力等から得る場合に想定されるC02排出量である。

#### (2) ベースライン活動量 (発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等) の算定式

$$EL_{BL} = EL_{PJ} = EL_{pv} - EL_{pvr} \quad (\text{式 7})$$

記号	定義	単位	想定値
$EL_{BL}$	ベースラインの系統電力使用量	kWh/年	1,154
$EL_{PJ}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量 自家消費した電力量	kWh/年	1,154
$EL_{pv}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量	kWh/年	4,616
$EL_{pvr}$	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量	kWh/年	3,462

### A.3.5 ベースライン排出量

#### (1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = EL_{BL} \times CEF_{electricity,t} \quad (式8)$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{BL}$	ベースラインの主要排出量( $0 \leq t < 1$ )	kgCO2/年	623.2
$EM_{BL}$	ベースラインの主要排出量( $1 \leq t < 2.5$ )	kgCO2/年	592.0
$EM_{BL}$	ベースラインの主要排出量( $2.5 \leq t$ )	kgCO2/年	562.0
$EL_{BL}$	ベースラインの系統電力使用量	kWh/年	1,154
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2 排出係数( $0 \leq t < 1$ )	kgCO2/kWh	0.54
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2 排出係数( $1 \leq t < 2.5$ )	kgCO2/kWh	0.513
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2 排出係数( $2.5 \leq t$ )	kgCO2/kWh	0.487

#### (2) 付随的な排出活動

(式 )

記号	定義	単位	想定値

### A.4.1 モニタリング計画

(1) 活動量 (燃料消費量、生成熱量、生産量等)

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類	概要	頻度	想定値	根拠	
ELpv	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量	kWh/年	B	表示器もしくは電力量計により把握する	年1回	4,616	実績値	
ELpvr	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量	kWh/年	B	表示器もしくは電力量計により把握する	年1回	3,462	実績値	
ELpvr	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量	kWh/年	A	電力会社の伝票	年1回		実績値	

(2) 係数 (単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等)

モニタリング項目			モニタリング方法			プロジェクト計画での想定		備考
記号	定義	単位	分類	概要	頻度	想定値	根拠	
CEF <sub>electricity,t</sub>	電力のCO2 排出係数	kgCO2/kWh	III	デフォルト値 (移行限界排出係数) を使用する。	年1回	0.540	デフォルト値 (0 ≤ t < 1)	
						0.513	デフォルト値 (1 ≤ t < 2.5)	
						0.487	デフォルト値 (2.5 ≤ t)	

(3) モニタリングデータの収集方法

モニタリング項目	ELpv、ELpvr
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電量EL<sub>pv</sub>については表示器もしくは電力量計を撮影した写真を事務局へ送付する。</li> <li>・売電量EL<sub>pvr</sub>については表示器もしくは電力量計を撮影した写真、電力会社発行の伝票等を事務局へ送付する。</li> </ul>	
削減活動実施者	旭川市
<p>【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさひかわ太陽光倶楽部入会申込書の提出により入会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会申込書の受理</li> <li>・会員情報の整理、保管</li> </ul>
<p>【クレジット認証時】（モニタリング対象事業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電量データの撮影、送付</li> <li>・売電量データの撮影、送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングデータの送付依頼</li> <li>・モニタリングデータの受領、整理</li> </ul>
<p>【クレジット認証時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてモニタリングデータ等の追加提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングデータをもとに、クレジット認証手続き</li> </ul>

## A.4.2 計量器を用いたモニタリング（分類B）に関する説明

### （1）計量器の概要

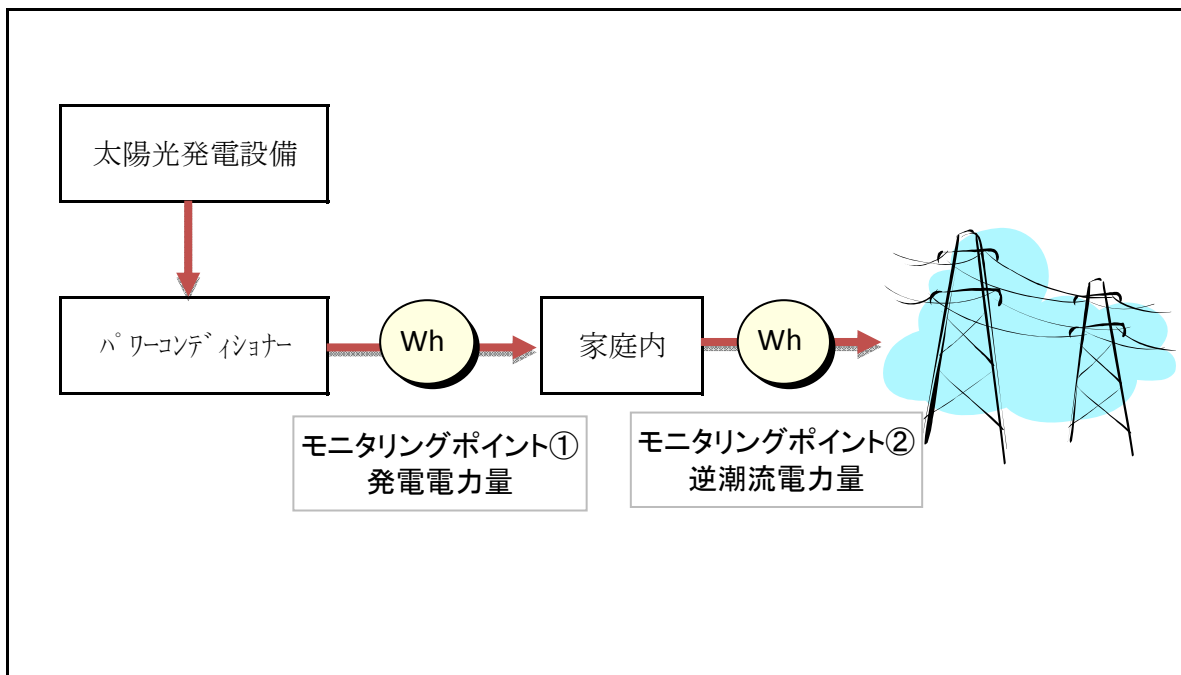
#### ①特定計量器の場合

モニタリング項目	計量器の種類	モニタリングポイント	検定の有効期限

#### ②特定計量器以外の計量器の場合

モニタリング項目	計量器の種類	モニタリングポイント	計量器の校正方法の説明
発電電力量	パワーコンディショナー モニター表示器	—	運営管理者が、補助金受給主体から入手した情報をもとに、モニタリング対象者の計測に係る機器のメーカー及び型式をチェックし、表示器の精度が保たれている事を確認する
太陽光発電システムの発電量のうち電力系統に逆潮流した電力量	パワーコンディショナー	—	同上

### （2）モニタリングポイント



### A.4.3 概算等に基づくモニタリング方法（分類C）に関する説明

モニタリング項目	
<p data-bbox="236 338 464 371">(推定・概算方法)</p> <p data-bbox="236 913 555 947">(モニタリングポイント)</p>	



#### A. 4. 4 係数(単位発熱量、排出係数、効率等)の実測方法に関する説明

モニタリング項目		